

テント山行

標準装備以外に持っていくもので、個人装備、共通装備があります。山行やメンバーにより荷物を分散して担ぐのでザックは比較的余裕がある大きさを持ってきます。

必須	装備	備考
●	テント	2人、3人～4人、4～5人、6人以上など人数にあわせて持っていくテントを変えます。多人数用になるほど重く、かさばるので、装備を分けて担いだりします。
●	フライシート	テントを外部要因から守るための道具。 夏用: 雨を通さない、軽い 冬用: 雨は通すが雪に強く、厚く重い保温性がある。 最近のテントではフライが必要ないテントもある(若干重い)
●	ペグ	テントを固定するための道具。5本から10本必要。特に強風時は必須。
●	シュラフ	就寝時に包まる。通常であれば、スリーシーズン用(−10℃)、冬山用(−20℃～−30℃)の2つあればオールシーズン対応できる。 夏に冬山用を持っていくと暑くて眠れない。また、冬山用はかさばる。
●	エアマット	半身用、全身用がある。それぞれ重さや容量が異なるので山行形態により持っていくものを変えると良い。快適な睡眠、底冷え防止に必須。
●	ストーブ(コンロ)	炊事に必須。バーナーはそれぞれサイズがある。5人以上で行く時にはガス・バーナーが2個あると便利。
●	燃料	多種メーカーはあるが、基本はどのメーカーの組み合わせでも使える。 山行形態によって大きさや持って行く個数を考えること
●	コッヘルセット	人数により大きさを変える。2個あると良い。フライパンがあると炒め物も出来る。
●	食器	食事により変わるが、大小食器セットとコップがスタンダードか。その他割り箸、スプーン、フォークなどがあると良い。
●	ゴミ袋	山行中に出るゴミはまとめておくと良い。
●	食料	山行によりいろいろ。最近はフリーズドライの携帯性の良いものも多いが、山で料理する食事は美味しい。
△	銀マット	テント内の下に敷く。底冷え防止の防寒対策で冬テントは必須。
△	シュラフカバー	シュラフの防水や保温のため。冬山テント泊では必須。
△	アルコール	テント内での楽しみに。焼酎・ウイスキー・ブランデーなど水で割れるアルコールだと少ない量で楽しめる。山の夜は長い。
	ツェルト	人数によりザックを外に出す時に雨・露避けがかぶせておく時に利用
	ラジオ	天気予報、テント内での気晴らしに
	グラウンドシート	テントの下に敷くシート。テントの汚れ、破れ防止、防寒対策にもなる。
	ランタン	最近はLEDランタンなどが使いやすい
	ポリタン・プラティパス	2L位の水をテント内に確保しておくために自分で飲む用以外に容器を用意する。プラティパスがかさばらなくて良い。
	サンダル	テントから出る時にあると便利。軽量でかさばらないサンダル。
	調味料	食事で少しアクセントをつけたい場合、塩、胡椒、しょうゆなどがあると良い
	コーヒー・ティーパック	食事後の一服に温かいものを飲むと良い
	携帯音楽プレーヤー	いびき対策、夜眠れない時の気晴らし用